

お茶の時間



日食 見ましたか? 新潟市内は当日(92)快晴。寺作りの観音様がカネも準備してその時を待た。午後4時15分、太陽が欠け始めている。東の極点の輝きも太陽を求めて車でウロウロしようかと、最悪の準備ができた。

次は、2023年4月20日に、次小日食か。2030年6月1日には、北海道で金環日食か。2032年11月3日 北海道で特大欠けか。向度、北海道では、太陽が欠けるときは、日食になるようだ。頑張る、健康で長生きするか! よく噛み、よく食べ、よく眠る。

「この先の十年は長いよ、でも振り返るとこの十年はアッと言ってしまう。ホントに短いよ、スカッとした話したり、二十歳の新人スタッフが、「エッ! かわいそう!」と目をまん丸にしたアハッ、またまたこれからこれから、知るこゝと、たごさんあるから。」

人はいずれも
子どもの時がある。
そして
すべての人は、
ずいぶん高齢者と
ずばりる日か
くるのだ。

こころに響く言葉

楽しくチャレンジ

政府が全家庭に二枚配布する。と意気揚々と宣言したマスクも、安倍首相が着用した姿に子ども用給食で「へんちけん」マスクを「と」と揶揄され、先がけての配布先からは「不潔で、不衛生な苦情が殺到する仕来。」

薬局のマスクコーナーは、いつも空っぽ。業を煮やした国民は手作りマスクの地元の新聞は、敬回をわたりマスクの型紙作り方を掲載。またたの間におしゃべり手紙やマスク着用者か増えた。患者さんも同様。そんな中のおひとり、製作依頼するも心良く引き受け下り、早速クラスに届いたよ。レースのエプロンや、大判のハンカチを渡すよ(このころにはガッセル地ゴムや品薄状態)。次回の来院時には、おしゃべりマスクが届いた。自然にアイディアが湧いて楽しいよ。目が飛ぶから枚数に限りはあはれれと苦ばれて苦にならないよと感謝をくわす。

気温上昇と共にマスクが息苦しい。と人々ポヤポヤ、クレルマスクが流行。スポーツメーカー、ヨネックスが「一枚の円」程で、衣料品のユニクロは「一枚入り」の八九円で発売すれば、買完という人気に。

この先もずっとマスク着用が続くのみ。人の表情、話し声も振えなくなつて何やら憂う世の中に、なにもない。



歯のよもやま話 第四十五話

歯の博物館 二

新潟市以外の国内の歯に関する博物館についてお話しします。

国内にもいくつか歯科医療に関する博物館があります。いずれも、各地の歯科医師会が設けています。新潟県や新潟市の歯科医師会もやつてくれるといんですがね。明治時代には新潟から歯科の先駆者が沢山輩出したのね。

まずご近所から。横浜市に神奈川県歯の博物館があります。お歯黒、歯痛に関する民間習俗、江戸の歯磨き売り、寅さんのルーツみたいな香具師(やし)の話、歯磨き粉と歯ブラシ、明治以前の木床義歯から西洋の義歯の話、抜歯の歴史など大変興味ある展示を行っています。

日本歯科大学の歯の博物館より一般の人向けの展示で見えて楽しいです。住所は横浜市中央区住吉2-2-20 神奈川歯科大学 健康センター(神奈川県川崎市川崎区) 1階電話 045-681-2172 入館料は無料ですが前日までに予約が必要です。現在は新型



「我州西洋歯科医学発祥の地」の碑

コロナの影響で休館中だそう。会館の前に「我州西洋歯科医学発祥の地」の碑が立っています。また、この収蔵品を中心に平成28年に「歯が痛い」展が横浜開港資料館で開かれましたが、すばらしいものでした。

名古屋市内に「歯の博物館」歯と口の健康ミュージアム」があります。こちらは昭和初期の歯科医師の診療室が再現されており、親父の診療室が彷彿とされ大変懐かしかったです。また人類学的資料も展示されており、縄文人の成人儀礼としての又杖研磨した頭骨など展示してありました。特に子供達に力を入れた展示になっていました。



昭和初期の歯科医師の診療室



縄文人の歯の又杖研磨



「歯が痛い」展ポスター

「歯が痛い」展ポスター

島根県浜田市にも「歯の歴史資料館」があります。特に歯黒関係の展示が多いと聞いておりますが訪問したことがありませんので詳細は不明です。浜田市久代町一(島根県歯科医師会西部会館内)です。

ポーラ化粧品品のポーラ文化研究所も歯黒関係の資料を数多く所蔵しており、時々江戸の化粧に関する展示を行っています。その際拝見することができます。

子田晃一

思ひ出のあじさい

あじさいが咲き始めた先月、朝日酒造(元車路・嶋博司さん)の酒造り普及に尽力された(か)がさなうれた。

「数年前、叔父に『素敵だな』と金むせるから』とホムルオオクラに呼び出された時の、おひとりの、

昨年「九十歳がすんこにやりました」と近況を知らせるお便りも頂戴していたのに残念なときを

診療所出入口花壇で咲く、あじさいは、嶋さんかういたいた。十九年の六月、あじさいをお分付しますから』と連絡を受け、自宅まで車を走らせた。

雨の中で振り起し、下下下、という大きな音、居間から眺められる場所、植え込まれていた。十二年前に息子の開業を機に一枚切り取り、さし木で植え、ものが元気に育ち、梅雨の季節を彩っている。

そのあじさいの名は「陽田の花火」名に似せられ、見た目の色、何気なく話したことも覚えていて、庭にたんさんあるからと分け下された。

嶋さんからは、お茶の時間発行の折々に楽しいお便りが届いた。



陽田の花火

あじさい
マノシク科 落葉低木

あじさいは、あず(集まる)さい(藍色)から生じた語という——日本大歳時記

あじさい、アジサイ、紫陽花

新潟では南端原郡田上の護国堂山があじさいの山として親しまれている。

家のあじさいが赤ばかりはなり音か咲かない。土壌のアルミニウム不足らしい、とボヤけば「植木鉢にあじさいを挿し一円玉を八枚入れ水が足りなかつたよ」と...

二十五日位にすれば良かったら、いとすくうばいお便りもいた。新澤季節の夜、お便りもいた。友人(新澤ハイカラ館主宰)が備前燧きりに付いた八重咲きのドクダミを挿し、すると「見たことない」と感動し、備前の空元に行こうと折、空閑にドクダミ、かいてあるのに感動して花壇を山山買って帰る。比喩的、でも日本の野草は、ピクニック、準備前は、と喜ぶお便り。嬉しいやさいも、お便りが続いた。

あじさいは満開。診療所道路側の花壇では、通路部分の土が固まり雑草が生えてくる。夫が薪ストーブから出る灰をまき、アルカリの強い土壌に、あじさいの濃い赤紫のあじさいが咲いている。

先日、その灰も背負って、写真を撮るのもう女性とみかけた。

花のたんさん季節は、やさしいお情の人たちに出会う季節でもある。

ホッとするとお便りは、嶋さんかう届かなくなつたが、陽田の花火に励まされて、ポツポツとまだまだ元気に書き続けよう。



親あじさい



爽いあじさい



柏葉あじさい



山あじさい? (花老さんか)



空あじさい (陽田の花火)

いいもの みつけ!

友人から「ほんの気持ち!」と頂戴した。

新潟では名の通りお茶屋さん「浅川園」で販売している。こはいい。と直ぐ以来お菓子に添えてプレゼントに利用している。

猫のイラストが可愛い。メッセージが楽しい。裏面にも一言ありクスクスと笑いを誘う。

煎茶、玄米茶、ほうじ茶、ミョウガ入りの種類も豊富だ。コロナでツラツラした今にピッタリ。

新潟伊勢丹、他 浅川園コーナーのあるショッピングセンターなどでどうぞ。



お茶屋の看板猫



ありがとう あじさいだるわすりにくい? 裏面... 猫着てごめんね!

日本の食生活は豊かだ。旬のものを取り入れる知恵がある。コロナで、お家にいる時間と外出も減り、料理に興味を持った人が増えたそう。

食生活は三か月で変えられる。体内年齢、体質までも大きく変えられる。春・夏・秋・冬の野菜の特徴をわかりやすく説明。文字も大きくて読みやすい。栄養学なども考えずに今までもう一度、野菜と向き合おう。おいしく食べられるように、嬉しい。



著者 中沢 3み
発行 2016年3月 株式会社 扶桑社
価格 1200円+税

いいなこの本

月のつぶやき

七月一日から(全国一斉)レジャーが有料とされた。生活必需品が又増えた。マスクと違つて悲憤感も持たない。むしろ、レジャーが有料、という感じが、あの手、この手の商戦が、ますます消費者の購買意欲を誘う。コロナで外出が減った。出かけるみよう。

新型コロナの影響で半年が、また半年に過ぎた。

お茶の時間、編集者も右へ倒れ、左へ倒れ、いえいえ継続力。とペンを持つた次第です。お付き合いよろしく。